

診療時間

平日 11:30～13:45／15:00～19:30
 土曜 11:30～13:45／15:00～19:30
 日・祝日 11:30～18:30
 休診日 12/31～1/3

月	火	水	木	金	土	日
堀 (11:30～19:30)	代診 (15:00～19:30)	堀 (11:30～19:30)	堀 (11:30～17:00)	中尾※1 (11:30～13:45)	新川 (11:30～19:30)	新川 (11:30～18:30)
	代診 (15:00～19:30)	小川 (15:00～19:30)	上田 (17:00～19:30)	代診※2 (11:30～13:45)	代診 (11:30～14:30)	代診 (11:30～16:30)
				代診 (15:00～19:30)	奥山 (15:00～19:30)	川北※3 (11:30～18:30)

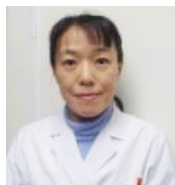
※1…第2,3,4週

※2…第1,5週

※3…月1回

院長：堀 好子

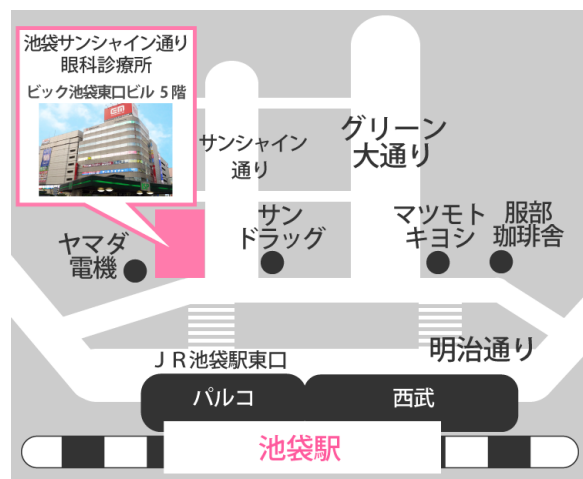
(日本眼科学会認定 眼科専門医 医学博士)



所属学会
 日本眼科学会会員、日本眼科医会
 会員、日本角膜学会、日本眼科手
 術学会、日本眼内レンズ屈折手術
 学会

昭和61年 岩手医科大学医学部 卒
 平成2年 岩手医科大学大学院 卒
 平成3年 岩手県立大船渡病院 眼科医長
 平成5年 岩手医科大学眼科助手
 平成5年 ハーバード大学スケペンス眼研究所勤務
 平成9年1月 東京歯科大学眼科勤務
 平成9年6月 南青山アイクリニック勤務
 平成20年 東京歯科大学市川総合病院勤務
 平成22年4月～ 池袋サンシャイン通り眼科診療所
 管理医師就任

Access



J R・東京メトロ (丸の内・有楽町)
 東武東上・西武池袋線
 池袋東口出口徒歩1分

東口 LABI1 (ヤマダ電機) となり
 三菱東京UFJ銀行のビル 5F です

当院のご予約



パソコン・スマホでも予
 約を受け付けております。

当日のWeb予約は18:00ま
 で受け付けております。

診療アンケート ▶

よろしければ診療に
 関するご意見をお願い
 します。



緑内障診療のご案内

池袋サンシャイン通り眼科診療所

当院は最新の医療機器を備え
 緑内障専門治療を
 行っております。
 ぜひ一度ご相談ください。



緑内障チェック

- ☒ 前と比べて少し見づらくなった
- ☒ 歩いているときに、人や物にぶつかることがある
- ☒ 40歳以上である
- ☒ 血縁者に緑内障がいる
- ☒ 近視である
- ☒ 頭痛、吐き気がある
- ☒ 眼圧が高いと言われたことがある
- ☒ 片目を隠すと見えない部分がある

3つ以上当てはまる方は眼科受診をお勧めします。

平日・土曜
 夜19時半迄
 土日・祝日
 診療

池袋駅
 徒歩1分

JR 池袋駅東口を
 出すぐ



医療法人社団 東京みどり会

池袋サンシャイン通り眼科診療所

院長 堀 好子 (日本眼科学会認定 眼科専門医 医学博士)

東京都豊島区東池袋 1-5-6
 ビック池袋東口ビル 5F

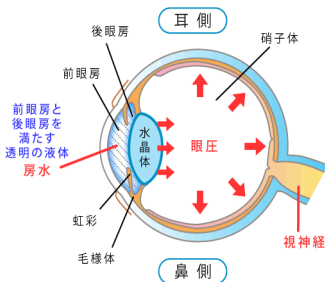
TEL/FAX
 03-3981-6363

URL(パソコン/スマートフォン)
<https://www.ikec.jp>

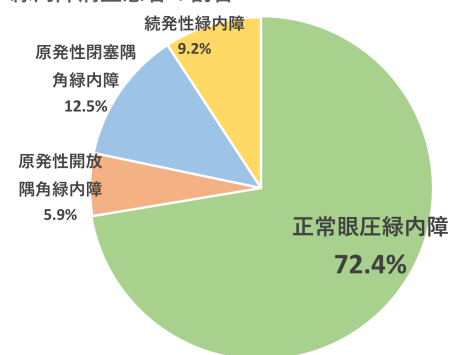


緑内障とは

日本人の失明原因で多い進行性の病気です。遺伝や**高眼圧**による神経の圧迫、強度近視眼が原因として挙げられ、眼の奥にある神経の部分が弱ると神経に一致する視野の感度が低下し視野欠損が起こります。健康診断では**視神経乳頭陥凹拡大**や**網膜神経線維欠損**と指摘されることがあります。日本人は正常眼圧緑内障というタイプが一番多いとされています。



緑内障病型患者の割合



日本緑内障学会
多治見スタディより



初期の緑内障では自覚症状が少ないので、早期発見することが重要です。

当院の緑内障検査機器



ゴールドマン視野計 (GP)

動的指標を用いて動的視野を計測します。180度の視野角の検査にも用いられ、全体の視野の形状を知ることが出来ます。



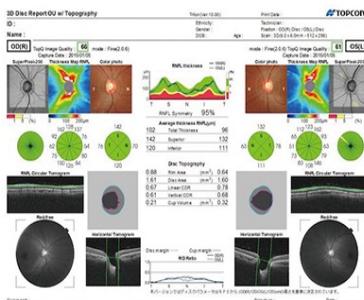
ハンフリーフィールドアナライザー (HF)

視野の中心部分の詳細な状況を観察するために用いられます。緑内障の診断と経過観察に適しています。



DRI OCT Triton (3次元眼底像撮影装置)

近赤外光を利用して網膜や神経の厚みを測定します。網膜視神経線維層の欠損を捉えることができます。



経過観察や治療効果判定において、短時間で信頼性の高い判断材料を得られます。

緑内障の治療

病気の進行を遅らせるために眼圧をコントロールすることが最も有効とされています。治療法としては点眼薬を使用する薬物療法やレーザー治療が一般的です。

薬物療法

眼圧の降下、維持を目的とする薬です。まずいろんな種類の点眼薬からはじめ、医師と相談しながら、その方に緑内障のタイプに合わせた薬物治療を行います。

SLT (選択的レーザー線維柱帯形成術)



房水の流出を妨げている色素細胞をレーザーで打つことで、流れを改善し、眼圧の低下を図る治療です。日帰りで行うことが可能で、点眼を忘れがち・手間に感じている方や薬の副作用などの理由で点眼治療が難しい方にもご検討いただける治療方法です。
※こちらの治療は新宿院にて行っております。

いずれの場合でも定期的な通院、治療の継続が必要です。

緑内障は生涯付き合い合っていく病気になるため、長くうまく付き合い合えるように病気の進行を出来るだけ予防することが大切です。

早期に発見して適切な治療を継続できるように、お気軽にご相談ください。

